

⑨ うしじま 牛島 ピーク 94.7m

2015年3月15日



【牛島（うしじま）】面積：0.7km² 周囲：4.2km 最高点：95m
世帯数：9 人口：11人（H27）丸亀港から牛島港まで約15分ですが、1日1～2便ですので直行便を逃したら、一旦本島に渡ってから丸亀港に帰るルートもありますが便数が限られていますので、よく確かめてからご利用ください。

塩飽諸島の中で4番目に小さい牛島ですが、江戸時代には「内海の海上王」丸尾五郎左衛門の廻船の本拠地となっていました。極楽寺には、3代にわたって瀬戸内随一の船もちとうたわれ栄華を誇った丸尾五郎左衛門の伝説が生きた“無間（むげん）の鐘”が現存します。この鐘をつくると一度は巨万の富を得て栄華を極めるが、やがて没落するという恐ろしい言い伝えがあります。

島の住宅には築200年程の立派な建物が多く、当時を彷彿させるところがあります。売店も自動販売機も公衆トイレもありませんが、築150年のゲストハウス・アイランドガールがありロコミだけで、すでに世界25ヶ国からのお客様を迎え夏には100人もの宿泊客が訪れるそうです。ドイツ製の窓、カナダ製のボットン便所にカヌー体験もできますが、テレビも新聞は無く電波も圏外の空間です。また、井筒和幸監督の映画「犬死せしもの」（1986）・降旗康男監督の「極道の妻たち三代目姐」（1989）のロケ地にもなっています。

【牛島 ピーク94.7m 山行記録】

3月15日 天候曇り時々小雨

11時50分 丸亀本島汽船乗り場集合

12時10分 定員70名の小さな旅客船「ブルーオーシャン2」にて出帆

12時25分 牛島 里浦港着 島の人口は10人程だそうで無人の船待合室らしき小屋がポツリとあるだけ、人影は見当たりません。



待合所らしき小屋



神社で登山ルートを検討中

12時30分 島の西側の山頂を目指し出発、辺りに人家はあるのですがもう何年も空き家らしく、一帯に身長よりも高い枯れ草が生い茂っていて山に入る前から早くも道に迷った感じを受けました。地図にある寺そして神社に行き着きやっと、山に入る道だと見当をつけたM田さんを先頭に、道のない竹藪の中を通り抜け、後は藪漕ぎの連続で高度を上げていき途中で



四国電力の巡視路標識を見つけたときは皆ホッとしました。

13時00分 体温調節のため小休止

13時15分 小雨がパラツキはじめる、これ以上降らないでと祈りながら歩く、少し視界の開けたところでは瀬戸大橋が見えました。

13時27分 東山山頂到着「標高94.7m」三角点を探し草に埋もれているのを見つけ記念撮影。

13時40分 下山開始 先ほど通ってきた道(?)なのに少し迷ったりしました。

14時07分 里浦港に帰着

14時45分 待合室小屋にてM浦さんの準備して下さったチーズホンデュをみんなでいただきました。

15時20分 島内散策に出発(牛島にあるもう一山の)西山への登山ルートの見当をつけながら山裾の道を歩き、海岸では「亀の手」を見つけ喜んだりしながら小浦方面へ行くと、手入れの



やっと見つけた三角点

行き届いた家屋敷や田畑が在りました。猫にはたくさん会ったけど島の人には会いませんでした。

16時57分 里浦港出帆 5分後には本島でフェリーに乗り換え

17時40分 全員無事丸亀港着 解散



島に渡る旅客船